

茂原市社会福祉協議会長賞

千葉県／58歳／女性／無職

みらい様

✉手紙の相手：お母さん

私は、千葉県茂原市の病院で、雪が降るお昼前に四千グラムで生まれました。

母さんが私にアルバムを見せながら、微笑みを浮かべて、私が生まれた時の事を話してくれた事は、今でも鮮明に覚えています。

あと、一年ちよつとで還暦を迎える歳になります。

驚いたでしょう。

脳性小児麻痺で、手足も自由に動かす事ができないけど、普通に恋愛して失恋したり、絵を描いたり、旅行に行ったり、いろいろな事にチャレンジして、悩んだり、挫折したり、今では、スマホで、にいちちゃん夫婦や支援学級の同級生、先輩、そして知り合った友人達にオンラインで話したり、ネットショッピングをしたり、毎日、楽しく、充実した日々を送っています。

私の周りには支えてくれる、家族と施設の職員の方達、ボラン

ティアの方達が沢山います。

ポツチャでは、千葉県大会で、銀メダルを二個、色鉛筆画では、今年の千葉県障害者作品展で賞を取って表彰されました。

にいちちゃんもいろんなことがあったけど、一つ一つ、乗り越えて、明るくて、優しく、ちよつと母さん似で、素敵な方と出逢って、幸せに暮らしています。

だから、母さん、安心して空の上で私とにいちちゃんのことを見ててくださいね。

母さん、私を産んでくれて、ありがとう。

そして、素敵な家族と友人達に出逢わせてくれて、ありがとう。貴方の娘で良かったです。

✉手紙への想い

私を産んで、大切に育ててくれて、厳しくもあり、優しい母とそして兄夫婦への感謝の気持ちを手紙に込めました。